

ま ち の 話 題

豊岡

豊岡小学校「いきいき学校」 但馬初のJリーグ 紀氏選手が来校



▲母校で後輩に夢を持つことの大切さを語りかける紀氏選手

3月8日、豊岡小学校で、地元出身の先輩を講師に招く「いきいき学校」が行われ、但馬初のJリーグの紀氏隆秀選手が、同校6年生を対象にして講演とサッカー指導を行いました。紀氏選手は、同校在学中にサッカーを始め、現在、サーカージリーグ1部のヴィッセル神戸でゴールキーパーとして活躍しています。

「夢は心に留めるだけでなく、他の人に語ることで実現に近づきます。また、夢を持っている人は時間を無駄にしがちです。皆さんも夢を持ち続け、その実現に向けて頑張ってください」と講演で語りかける紀氏選手に児童たちは熱い視線を送っていました。

城崎

スナップ・イン・きのさき 城崎で思い出の1枚 で〜きた

3月15日、スナップ・イン・きのさきが城崎温泉駅前のさとの湯イベント広場で開催されました。これは、城崎温泉街に訪れた観光客に思い出の写真を撮ってもらおうと、カニシーズンに2回実施しているものです。

当日は、城崎温泉街マスコットキャラクターの「舞ちゃん」が登場し、旅の思い出に記念撮影を求める観光客で大賑わいでした。

明石市から観光で訪れた奥田千晶さんは「城崎はいいまちですね。外湯巡りが楽しかったです」と笑顔で話していました。



▲旅の思い出に「ハイポーズ」。撮影した写真はそのまま手渡された

竹野

世代を超えての交流会 子どもと一緒に 楽しくふれあい



▲子どもと一緒に新聞遊びをして楽しくふれあう参加者たち

2月28日、竹野地区公民館で竹野愛育班、いずみ会、老人会、子育てセンターの親子など約70人が一堂に集まり、世代を超えた交流を行いました。これは、地域で子どもを育てるきっかけづくりとして、竹野愛育班が各団体に呼びかけて実施したものです。

当日は、自己紹介や新聞遊びゲームなどを行ったり、いずみ会や婦人会の皆さんの地元で採取した海藻を使って作った「じんばと大豆の煮物」「もずくスープ」などをみんなで食べたりしました。愛育班代表の土生田喜代子さんは「子どもは地域のみんなで見守り育てることが大事です」と話していました。

まちの情報などがありましたら、秘書広報課広報聴係までご連絡ください。

日高

地域活性化講演会

薬草ヤーコンで

健康の里づくり

2月23日、神鍋観光協会とマロニエの里推進会議が、健康の里づくりを模索する講演会を開催し、宿泊施設や農業などを営む地元住民約100人が参加しました。

大阪薬科大学教授の木村捷二郎よじろうさんを講師に迎え、食物繊維が豊富で整腸作用があり、ダイエット効果も期待される薬草「ヤーコン」について栽培方法や保存方法などを学ぶとともに、料理の試食会も行いました。参加者からは「ヤーコンって結構おいしい」と評判も上々でした。同協会会長の岡田和政さんは「今後も四季を通して観光産業を発展させる新しい取り組みを続けていきたいです」と話していました。



▲煮物、サラダ、ジュースなどヤーコンを使ったさまざまな料理を試食する参加者

出石

みんなが主役のまちづくり交流会 女性たちが輝き そしてまちが元気になる！

3月10日、出石町女性団体連絡協議会主催の「まちづくり交流会」が、出石農村環境改善センターで開催されました。

当日は、各地で地域づくりを展開している活動団体代表4人がパネリストとして参加し、「住民ディレクターによる番組づくり」「地域通貨でコミュニティの活性化」など、地域の課題解決に向けた活動事例発表が行われました。

続く講演会では、兵庫県立大学教授の勝木洋子さんが、「豊岡市男女共同参画プラン」を例に挙げながら男女共同参画社会の必要性を力説。参加者の一人は「市民一人ひとりの意識改革が重要ですね」と、住みよいまちづくりへ思いを巡らせていました。



▲参加者たちは地域で活躍する女性団体代表者の事例発表に真剣に耳を傾けた

但東

基礎からのガーデニング教室

花を良く育てるには

土づくりから

3月13日、高橋地区公民館で基礎からのガーデニング教室が開催され、13人が参加しました。

当日は、ガーデニングコーディネーターの家元恵子さん（出石町鍛冶屋）が、ガーデニングの基礎となる土づくりについて話した後、参加者は、ストックやポリアンなどを使って花の寄せ植えに挑戦しました。

参加者の道下伊都子さん（但東町小坂）は、「花をきれいに咲かせるには土づくりが大切なことを学びました。早速、我が家の庭づくりに活かします」と話していました。なお、教室は11月までに3回開催される予定です。



▲花の寄せ植えの基礎を教わる参加者たち。これからの庭づくりに心が弾む